

シミックバイオと台湾 Krisan Biotech、抗体薬物複合体（ADC） の日本顧客向けサービスに関する業務提携覚書を締結

シミックホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 CEO 中村 和男）のグループ会社であるシミックバイオ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 佐野 倫、以下：CBI）は、Krisan Biotech（本社：台湾台南、CEO：Jamie Hung、以下：KB 社）と日本国内で抗体薬物複合体（antibody-drug conjugate、以下 ADC）※¹ 製造支援サービスを提供するための覚書を締結したことをお知らせします。

※¹ 抗体に薬剤を結合したバイオ医薬品



■本覚書の目的と背景

ADC は抗体に薬剤を結合したバイオ医薬品で、薬剤を標的細胞に直接作用することで高い治療効果を発揮しつつ、健康な細胞への影響を最小限に抑え、副作用を軽減できる特徴があります。近年、がん治療の分野でその開発ニーズが急速に高まっています。しかし、ADC は毒性が高く、開発に特化した施設と高度な技術が必要であり、特にアジアにおいてはその製造環境が限られています。

今回の業務提携では、CBI と KB 社が持つ技術力を合わせることで、日本のお客様にとってより委託しやすい ADC 製造支援サービスをアジアにて完結することを目的としています。

■業務提携の概要

本提携により、CBI と KB 社は日本国内において以下の体制で ADC 製造支援サービスを提供します。

CBI：CBI が日本国内に持つ医薬品製造施設で、抗体を製造

KB 社：CBI が製造した抗体に対し、リンカー※²、ペイロード※³ の付加、コンジュゲーション※⁴ の実施

CBI は今後も、バイオ医薬品の開発製造および関連分野のニーズを捉え、社外との提携などを通じ、さらに幅広い顧客ニーズへの対応を目指して参ります。



※2 抗体とペイロードを結合し、標的細胞内でペイロードを適切に放出する役割を果たします。

※3 ADCの薬理活性部分で、標的細胞に到達後、細胞内で作用し治療効果を発揮します。

※4 抗体とペイロードを化学的に結合させてADCを構築するプロセスを指します。

■ Krisan Biotech (KB 社) について

Krisan Biotech は、2015 年に設立され、医薬品開発と製造における優れた解決策の旗手として存在しています。20 年以上にわたる開拓者的な専門知識を誇る Krisan Biotech は、複雑な小分子、ADC（抗体薬物複合体）、ペプチド、PDC（タンパク質薬物複合体）およびオリゴヌクレオチドを含む分野で CDMO（医薬品開発製造受託機関）サービスを提供しています。

詳しくはウェブサイトをご覧ください。 <https://en.krisanbiotech.com/>

■ シミックバイオ株式会社 (CBI) について

シミックバイオ株式会社は、静岡県に動物細胞用に GMP 対応したシングルユース設備を保有し、2020 年 10 月よりバイオ原薬のプロセス開発および製造受託支援サービスを提供しております。国内にて初期プロセス開発から原薬製造、そして製剤化までお客様とのコミュニケーションを大切にし、一貫した伴走型サービス支援を提供いたします。

詳しくはウェブサイトをご覧ください。

<https://www.cmicgroup.com/corporate/group/cmic-bio>

■ シミックグループについて

シミック (CMIC) は、1992 年に日本で初めて CRO（医薬品開発支援）事業を開始し、今では開発から製造、営業・マーケティングまでの医薬品に関する総合的な支援業務を提供しています。製薬・バイオテクノロジー・医療機器等の海外企業の日本市場参入や、アジアでの臨床試験実施、米国と日本における医薬品開発および製造のサポートなども展開しています。また、シミックは個人や自治体を支援する新しいヘルスケアソリューションを提供しており、製薬企業のバリューチェーンを全面的に支援する豊富な経験と実績を基盤として、“個々人の健康価値を最大化”する事業モデル PHVC (“Personal Health Value Creator”) の展開を目指しています。シミックグループは、世界中に 7,500 人を超える従業員とグループ会社 28 社を擁しています。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

<https://www.cmicgroup.com>

【報道関係からのお問い合わせ先】

シミックホールディングス株式会社

コーポレートコミュニケーション部

E-mail: pr@cmic.co.jp